

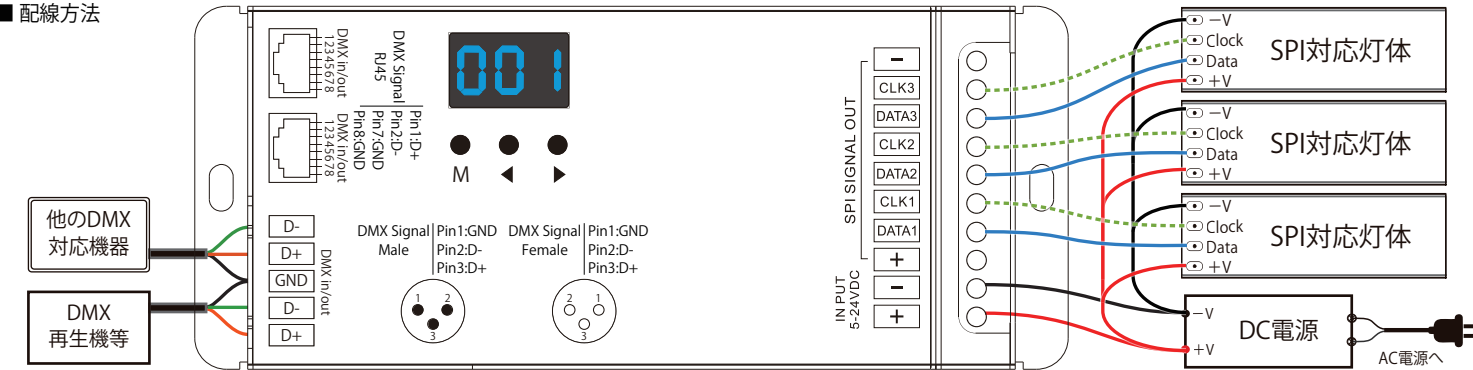
■ 製品仕様

- ・入出力電圧 DC5-24V
- ・消費電力 1W
- ・制御可能ピクセル数 最大900ピクセル
- ・保護等級 IP20 (非防水)
- ・重量 340g (本体のみ)
- ・サイズ 幅165 x 奥行71 x 高さ38mm
- ・動作環境温度 -20℃～+40℃ ※結露させないでください
- ・入力信号 DMX512
- ・出力信号 SPI

■ 使用上のご注意

- ・配線工事は必ず工事店又は有資格者に依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。
- ・作業は電源を切った状態で行ってください。
- ・設置前に必ず動作の確認を行ってください。
- ・粉塵・振動が多い場所、可燃性ガス・腐食性ガス等が発生する場所、高温・高湿になる場所、浸水する恐れのある場所、水がかかる場所、有機溶剤がかかる場所では使用しないでください。
- ・雨天での施工や濡れた手での設置はしないでください。
- ※本取扱説明書の注意事項に反する使用をした場合 ※天災、人災等による故障の場合 ※誤った取付作業による破損の場合
- ・現場調査費、現場修理費工事費等の二次的派生費用につきましては、いかなる場合におきましても保証いたしかねます。

■ 配線方法



■DMX機器との配線

DMX信号入出力端子は以下の3種類あります。

- ・XLR3ピン (オス/メス各1)
- ・RJ45 (メス×2)
- ・ネジ式端子台 (D+/D-各2、GND×1)

どの端子からもDMX512信号の入出力が可能です (一方の端子で入力を行うと、もう一方は自動的に出力になります)

■SPI灯体/DC電源との配線 ※1

[SPI SIGNAL OUTPUT] CLK1/2/3 端子 …… SPI対応灯体のCLOCK信号入力 ※2

[SPI SIGNAL OUTPUT] DATA1/2/3 端子 …… SPI対応灯体のDATA信号入力 (DIN)

[INPUT 5-24VDC] V- 端子 …… DC電源の-V出力

[INPUT 5-24VDC] V+ 端子 …… DC電源の+V出力

※1 灯体への電源供給はコントローラを介さずにDC電源から直接給電することを推奨します (上図参照)。接続する灯体の電圧仕様・消費電力に応じて、適切な電圧・容量のDC電源をご用意ください。

※2 CLOCK信号入力が不要な灯体 (下記「IC設定表」でSPI信号種別がDATAのみのICの灯体) の場合、CLK1/2/3を配線する必要はありません。

※3 DATA1-CLK1、DATA2-CLK2、DATA3-CLK3の組み合わせで3系統まで並列に配線可能です (出力される信号はどの系統も同じです)

■ コントローラの初期設定手順

- コントローラ本体のMと◀キーを同時に長押しすると画面表示が「C**」(*は数字) に変わり、設定モードに入ります。
 - 「C**」と表示されている状態はIC設定モードです。右の「IC設定表」を参照の上、◀▶キーを押して、接続する灯体のIC向けの設定を選択してください。
 - 次にMキーを短く押すと画面表示が「0-*」(*は数字) に変わり、RGB並び順設定モードになります。通常は「0-1」(RGBの並び) のままで結構ですが、必要に応じて◀▶キーで値を変更してください。(0-1:RGB, 0-2:RBG, 0-3:GRB, 0-4:GBR, 0-5:BRG, 0-6:BGR)
 - 次にMキーを短く押すと画面表示が「***」(*は数字) に変わり、制御ピクセル数設定モードになります。◀▶キーで制御内容に応じたピクセル数を設定してください。(設定可能な制御ピクセル数の範囲は008～900です。DMX制御を行う場合、有効なピクセル数は最大170です)
 - 次にMキーを短く押すと画面表示が「boF」または「bon」に変わり、画面自動消灯設定モードになります。「boF」は画面自動消灯オフ、「bon」は画面自動消灯オンを表します (◀▶キーで値を変更可)
- ※ Mキーを2秒長押しするが無操作状態で10秒経過すると 設定モードを終了します。
- ※ コントローラに設定した値は下記DMXデコードモード・スタンドアローンモードの場合も含め電源再投入後も有効です。
- ※ 設定を初期化するには、画面表示が「RES」になるまで◀と▶キーを同時に長押しします。(IC設定はC12、RGB並び順は0-1、制御ピクセル数は170、画面自動消灯はオフ、DMXスタートアドレスは1、内蔵プログラムはP01になり、リモコンとのマッチング設定は解除されます)

■ DMXデコードモード使用方法

- ピクセル数設定モード以外で画面に3桁の数値(001-999)が表示されている状態がDMXデコードモードです。画面表示が「P**」(スタンドアローンモード) になっている場合はMキーを短く押すとDMXデコードモードに切り替わります。 ※1
 - 画面の3桁の数値(001-999)はDMXスタートアドレスです (◀▶キーで値を変更可)
 - Mキーを2秒長押しするとデコードチャンネル数とピクセル倍率の設定モードに入ります。画面表示「dno」がデコードチャンネル数設定モード ※2、画面表示「Pno」がピクセル倍率設定モード ※3 です (◀▶キーで値を変更可) Mキーを短く押すと上の2つの設定モードの切り替えが可能です。
- ※1 DMX信号送出機器 (再生機、操作卓等) と接続した状態で本機にDMX信号が正しく入力されている場合、自動的にDMXデコードモードとなり、画面には3桁の数字 (設定したスタートアドレス) が常時表示されます。3桁の数字と「---」が交互に表示される場合、DMX信号が正しく入力されていません。信号送出機器の電源が入っているか、配線が正しく行われているかを確認下さい。
- ※2 デコードチャンネル数とは、制御に使用するDMXチャンネル数の設定です。
例) IC設定がRGB向け (RGBW以外) でスタートアドレス「001」の場合、
「003」全ピクセルがDMX1-3chで制御されます。
「006」奇数ピクセルはDMX1-3ch、偶数ピクセルはDMX4-6chで制御されます。
「510」170ピクセル目までRGBに個別のチャンネルを割り当て (※初期値)
- ※3 ピクセル倍率とは3DMXチャンネル (RGBWのIC設定の場合4DMXチャンネル) で制御するピクセル数の設定です。
例) IC設定がRGB向け (RGBW以外) でスタートアドレス「001」の場合、
「001」3DMXチャンネルで1ピクセルを制御 (DMX1-3chで1ピクセル目、DMX4-6chで2ピクセル目、以降順番に割り当て ※初期値)
「002」3DMXチャンネルで2ピクセルを制御 (DMX1-3chで1-2ピクセル目、DMX4-6chで3-4ピクセル目、以降順番に割り当て)

<画面表示例>



< IC設定表 >

No.	IC type	SPI信号種別
C11	TM1803	DATA
C12	TM1809,TM1804,TM1812,UCS1903,UCS1909,UCS1912,UCS2903,UCS2909,UCS2912,WS2811,WS2812	DATA
C13	TM1829	DATA
C14	TLS3001,TLS3002	DATA
C15	GW6205	DATA
C16	MBI6120	DATA
C17	TM1814B(RGBW)	DATA
C18	SK6812(RGBW)	DATA
C19	UCS8904B(RGBW)	DATA
C21	LPD6803,LPD1101,D705,UCS6909,UCS6912	DATA,CLK
C22	LPD8803,LPD8806	DATA,CLK
C23	WS2801,WS2803	DATA,CLK
C24	P9813	DATA,CLK
C25	SK9822	DATA,CLK
C31	TM1914A	DATA
C32	GS8206,GS8208	DATA

■ スタンドアローンモード (内蔵プログラム) 使用方法

- 画面に「P**」(*は数字) と表示されている状態がスタンドアローンモードです。画面表示が3桁の数字 (DMXデコードモード) になっている場合はMキーを短く押すとスタンドアローンモードに切り替わります。
 - 「P**」の2桁の数値は内蔵プログラム番号です。内蔵プログラムは全32パターン ※1 を搭載しています。◀または▶キーを押してお好みのプログラムを選択してください。
 - Mキーを2秒長押しするとスピードと明るさの設定モードに入ります。画面表示「S-*」がスピード設定モード、画面表示「b-*」が明るさ設定モードです。Mキーを短く押すと上の2つの設定モードの切り替えが可能です。◀または▶キーで、それぞれの設定値を変更可能です。スピードと明るさはそれぞれ10段階で設定可能です。画面表示の1~9はレベル1~9、Fはレベル10を表します。スピードの設定はプログラムごとに保持されます。明るさの設定は全プログラム共通です。
- ※1 内蔵プログラムの内容は動画をご参照ください。下のQRコードから動画のページにアクセスしていただけます。(他機種で撮影した動画ですが、プログラムの内容は共通です)

